



小磯幼稚園 保育発表会(平成20年12月12日)

第147号

2009年(平成21年)1月27日発行

議会だより

大磯

12月定例会

- 決まったこと
課設置条例 …………… 2
景観条例など …………… 3~4
- あなたの要望はこうなりました …… 6
- 町政のここが聞きたい 一般質問 … 7

12月定例会を12月2日から16日までの会期で行った。陳情は10件提出され、そのうち7件を委員会に付託し審査した。結果、1件について関係先へ意見書を送付した。議案は人事案件1件、補正予算案5件を含め17件を審議し全て可決した。



高田公園付近から

部制を廃止し、課設置条例を制定

機構改革の重点事項

- ①地域主権社会に対応した合理的な組織の構築
- ②子育て支援体制の強化
- ③スポーツ振興体制の強化
- ④防災体制の確立
- ⑤重要政策を推進する体制の充実
- ⑥町民の目線に立った組織の構築

三好町長が選挙時の公約としていた「部長の廃止」に伴い課設置条例などの議案が提出された。

町長がスポーツに関すること（学校体育を除く）を管理及び執行できるようにするため、職務権限の特例が必要な事項を定める。

スポーツと健康の窓口を統一し、健康づくり、地域づくりなどを、より幅広い視点で振興を図るようになる。

また、機構改革による部制の廃止及び課制の導入に伴い、現行の部等設置条例を廃止し、関連条例の規定の改正を行う。

限られた人材を最大限に活用するために、簡素かつ効率的な行政組織の構築を目指す。

施行は平成21年4月1日。付託された総務建設常任委員会、本会議ともに、採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 副町長の権限はどのようになるのか。

答 副町長がやるべき業務はルーブル化されている。

現在の部長決裁は、基本的に課長へシフトされる予定である。

どうしても副町長が決裁すべき内容の部分が増えると考えている。

問 組織で副町長に相談することになる。行政の停滞化にならないか。

答 部長4人で行ってきたものを、課長11人で行うことになる。

課長の仕事は順次降ろし、事務を分散する。

部門ごとに統括課長を考えており、一極集中ではなく、分散型を考えている。

問 給与形態はどうなるのか。課長制になると、部長の管理職手当を課長に

適用するのか。

答 部長の仕事は課長へ移行し、課長の権限を基本的に強化する。

課長の管理職手当は、現在ベースのままだが、議案が通ったら、給与形態を検討しなければいけないと考える。

問 「すぐやる室」の配置をどのように考えているか。

答 基本的に現場作業が多くなるので、配置転換も含め現業職員も考えている。

4月1日スタートなので、きちつと整備したい。

反対討論

スポーツ関係は今ままでおり生涯学習課で扱うことで、目的は達成できる。

部制を廃止するとかえって、副町長に権限が集中して行政の停滞が起きかねない。

賛成討論

町長の公約だ。フラットな組織を作って地方分権に応じた組織にして欲しい。

町民の目線にたち、今後の少子高齢化に備え、職員の定数削減を課ごとによく考えて欲しい。

地域らしさを活かした景観条例を制定

町固有の良好な景観の保全、創出を町民等との協働により進めるため、景観計画の策定及びその推進に向けた体制などの整備・運用を制定する新規条例の議案が提出された。

施行は平成21年4月1日。付託された総務建設常任委員会では採決の結果、全員賛成で可決し、本会議でも賛成多数で可決した。

主な質疑

問 町長は良好な景観の形成を推進するため、必要があれば技術的な支援、または予算の範囲内で財政的な支援を行うことができる、とあるが。

答 生垣奨励制度の拡充とシンボルツリーの苗木の配布を考えている。また、維持管理の支援も考えていきたい。

問 どのようなものを支援の対象としていくのか。

答 良好な景観の推奨としての歴史的建造物や景観樹木など。

問 景観アドバイザーとは。建築・土木・都市計画

・彩色などの専門家や学識経験者を指す。公募は

しない。

問 大磯景観応援団の活動内容は。

答 公募で集めた町民を主体として、景観専門分野の学生、専門家、地元活動団体を加える。ボランティアとして10〜20人位で、町への提案、町民への普及・啓発活動など行う。

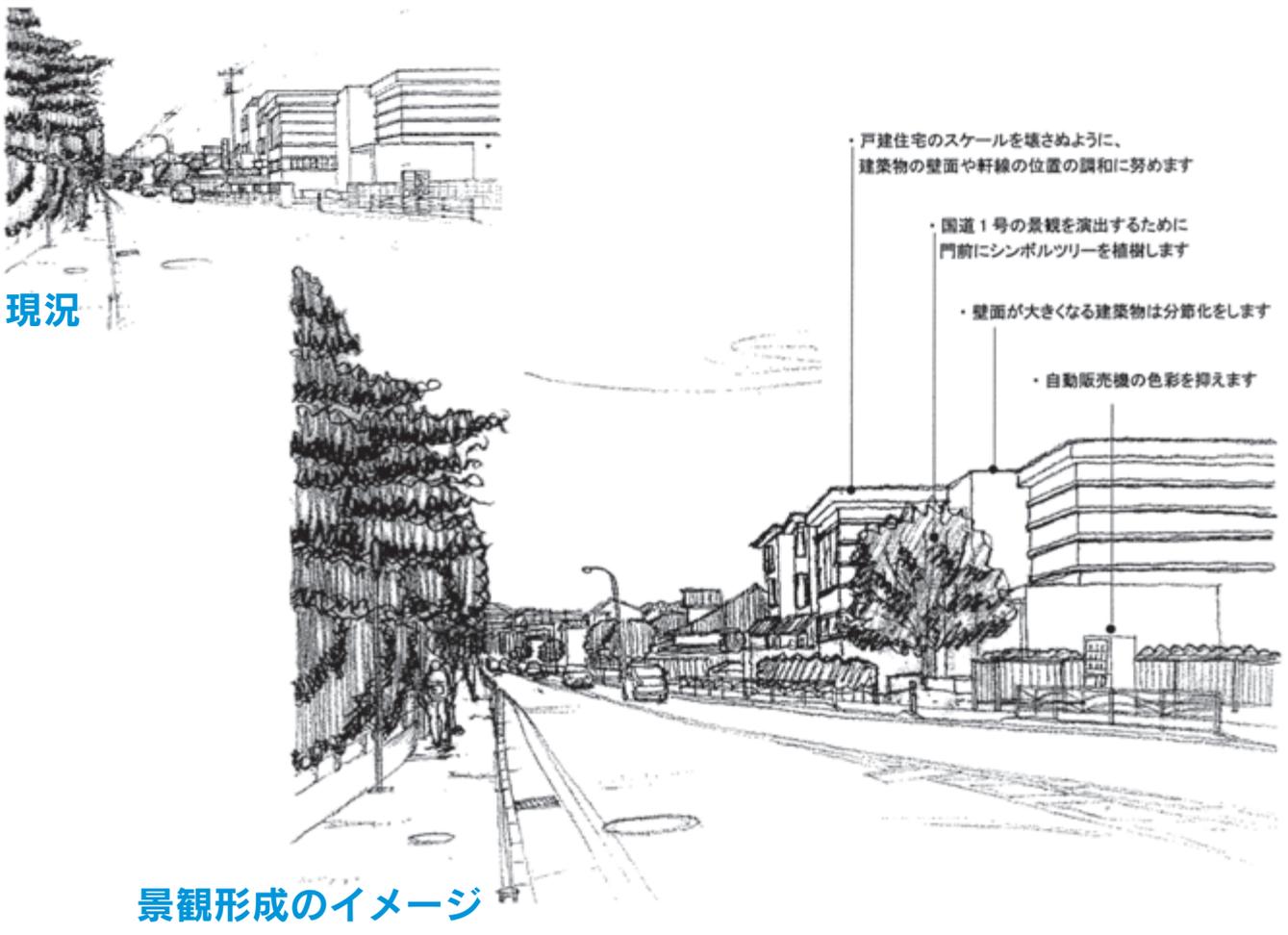
反対討論

のびのびとしたまちづくりの運営ができるのか。町民に土地利用の規制をすべきではない。

賛成討論

66名からのパブリック・コメント計28件を取り入れて役立てた点を評価する。町民が、景観カルテ作りから参加したことは良かった。

景観ガイドラインを作り、周知徹底を図ることが重要。町民と事業者に対し、まちづくり条例と併用して条例遵守するよう行政が指導することを望む。



住民税 年金から天引き他

個人住民税寄附金控除の対象に、所得税の寄附金控除の中から都道府県・市町村が福祉の増進に寄与する寄附金を条例で定めるものが追加された。また、個人住民税に公的年金からの特別徴収制度を導入する議案が提出された。

- 問** 町のシステムはできているのか。
- 答** メニュー作り、体制作りを早期に考えていく。
- 問** 控除額は、市町村と団体ではどちらが大きいのか。
- 答** 市町村への寄付。
- 問** 年金から住民税が天引きされる年金年額は、
- 答** 18万円以上。

国保の出産育児一時金 3万円増額

産科医療補償制度の実施に伴い、出産育児一時金を35万円から38万円に引き上げる議案が提出された。

この制度では、通常分娩の事故で医療上の過失が明らかでない場合に、分娩機関が患者へ補償金を支払う。

そのため分娩機関が、(財)日本医療機能評価機構に保険料を支払うために、出産費用を値上げすることが見込まれるので、保険料相当額を増額する。

施行は平成21年1月1日

主な質疑

- 問** 産科医療補償制度への医療機関の加入率は、
- 答** 全国の加入率は平均97%。神奈川県では、病院診療所98.4%、助産所81.4%で、平均94.2%。



下水道工事の請負契約

下水道工事の請負契約を結ぶため、議会の承認を求める議案が2本提出された。

①平塚学園付近から国府橋までの延長605m。金額は約1億7千800万円。

②城山公園から本郷橋を左折、国道を斜めに渡り、シャンポール大磯の南側の先までの延長807m。金額は約1億3千800万円。

契約は、2カ所とも茅ヶ崎市内の亀井工業(株)と結び。

- 問** 工事期間と共用開始時期は、
- 答** 工事期間は平成22年3月まで、供用開始は5月からとなる。
- 問** 20年度事業は遅れているが、今後は予定通りできるか。
- 答** 枝管整備は順調に進んでいるので、22年度までの工期に影響はない。

主な質疑

- 問** 2カ所とも同一業者が落札したが、管理監督は出来るか。
- 答** 管理監督は神奈川県技術センターへ委託する。
- 問** 従業員80名の会社が出るか。
- 答** 過去に官公庁の土木工事をやっているのだから、心配していない。
- 問** 落札率が81%だ。設計事務所と落札業者の住所がともに茅ヶ崎市で、情報が漏れているのでは。
- 答** 同じ地域の業者を入札させるべきではなかった。競争妨害されている。神奈川県技術センターへは2度と委託すべきでない。
- 問** 職員が設計できないので委託が必要である。委託は指名選考委員会を決めていく。

国府橋付近

反対討論

落札率が81%では、情報が漏れていると思えるし、競争が制限されている。設計委託を神奈川県技術センターへ2度と発注すべきではない。



賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	
		渡辺 順子	山口 陽一	三澤 龍夫	高橋 英俊	坂田 よう子	竹内 恵美子	奥津 勝子	浅輪 いつ子	清水 弘子	柴崎 茂	山田 喜一	鈴木 京子	土橋 秀雄		
49	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	可決	
50	大磯町課設置条例	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	可決	
51	大磯町景観条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決	
52	大磯町心身障害者福祉年金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
53	大磯町立球技場の設置、管理等に関する条例を廃止する条例	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	可決	
54	大磯町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 (平成21年1月の町長及び副町長の給与、1/10を減額)	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	可決	
55	大磯町町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	可決	
56	大磯町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
57	町道の認定について (町道高麗43・44・45号線、東小磯50号線)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	可決
58	平成20年度 一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
59	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
61	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
63	工事請負契約の締結について (大磯38-1 汚水幹線整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
64	工事請負契約の締結について (大磯38-6 汚水幹線整備工事)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
65	教育委員会委員の任命について 大橋伸明氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
意見書案 第3号	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例(仮称)」骨子案 に対し配慮を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成 ●は反対

あなたの要望はもうつなりました

詳細はホームページで閲覧できます。

採択となった陳情

◆「生沢プール跡地を含めた広場」を地域の広場とすることについての陳情
陳情代表者は、岩崎侯橘氏（生沢区長）ほか17名。

内容は、生沢プール跡地を含めた広場は、生沢住民はもとより近隣住民にとってもかけがえのない大切な土地であり、公園的な広場として整備することを求める、というもの。

意見で「プール老朽化と同時に高圧線の問題がある。安全を第一に調査し、地元にご理解をいただき、話し合ってもらいたい。」などがあつた。

◆「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例（仮称）」骨子案に対し意見書の提出を求める陳情
陳情代表者は、箕島伸江氏（湘南分煙ネットワーク大磯）。

内容は、県の条例骨子案で、

① 零細施設の経営圧迫とならない条例にすること

② 施設管理者の裁量を広げ、利用者が選択できる分煙も考慮すること

の意見書を県に提出をお願いしたい、というもの。

生沢プール
意見で「時代の要請はわかるが、景気等の社会的情勢を判断すべき。」「分煙方法に選択肢を増やすべき。」などがあつた。



東町球技場

みなし不採択となった陳情

◆東町球技場の存続を求める陳情書
陳情者は、佐藤哲雄氏（高齢者ランドゴルフ部）。

12月定例会で提出された議案「大磯町立球技場の設置、管理等に関する条例を廃止する条例」を可決したことを受け、この陳情はみなし不採択となった。

不採択となった陳情

◆「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情書

◆現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書

◆医療費助成制度に関する県への意見書提出を求める陳情

◆所得税法56条廃止の意見

書を国にあげることについての陳情

机上配布となった陳情

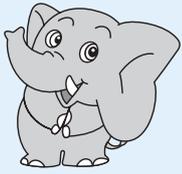
◆健全に運営する自主共済に対し、新保険業法の適用除外を求めることについての陳情

◆「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情

◆大磯町における医療費助成制度拡充に関する陳情

県に提出された意見書

「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例（仮称）」骨子案に対し配慮を求める意見書



町政のここが聞きたい 一般質問

詳細は会議録・ホームページ（HP）・DVD（図書館貸出）をご利用ください。【文責は本人】

清水弘子 議員

問 国府地域の学校プールの進捗は。

来年度の夏のプール使用のために、どこまで計画が進んでいるか。

答 学校水泳授業の充実とだれもが泳げるようになる環境づくりのため、国府小学校に学校プールを整備することが最優先であり、要望している。

問 スピーディーに決断をしてほしいが、一生懸命やらせていただきたい。

答 県の対応は疑問がある。町では審査請求の制度をお話ししたい。

鈴木京子 議員

問 介護保険料の見直しは。

おおむね8%の上昇と考えている。介護認定で、御本人の状況があまり変わっていないのに介護度が下がった話を耳にする。不服申し立てに対して、県の方が町と仲良くやるようにというのは不適切ではないか。

答 県の対応は疑問がある。町では審査請求の制度をお話ししたい。

坂田よう子 議員

問 町が大磯港の指定管理者となったことへの展望を問う。

大磯港の活性化に向けた自主的な運営が可能となった。新たな観光拠点また、町民の憩いの魅力ある港とする。

問 旧吉田邸は邸園文化構想の中核、城山公園と一体化した近代史記念館を。

答 町の要望を県に伝えていく。
その他の質問 子育て支援へ財政強化を。

山田喜一 議員

問 地方分権が進む中で町の将来を展望し、町の課題と執行体制の整備は。

当面道路やごみの広域課題に、町が率先して役割を果たせる職員と町の体制を整備し、存在感を示したい。

問 65歳以上が25%から30%になる状況の下で、老老・シングル等介護深刻。

答 居宅介護者に町のもてなし施策を。介護者に負担重い。対応検討したい。

奥津勝子 議員

問 中学校への注文弁当方式導入は。

生徒、保護者、教職員で話し合いを。

問 防犯灯設置の仕組みについては。

答 HP・広報でシステムを周知する。

問 青色防犯灯の推進は。

答 先進地の事例を検討し、施行したい。

問 防犯灯維持管理事業の事業仕分けの評価結果での課題と検討は。

答 少しずつ地域に任せてとの提案が。

柴崎茂 議員

問 ごみ処理行政の不備を問う。平塚との間で進めている広域は。新聞によると全国の自治体の99%がごみの収集・運搬に民間委託を導入している。平塚市は現在でも自前でやっているが合理的か。

答 焼却施設の建設費も維持管理経費も広域処理のほうが削減が見込める。炉の大きさは実態に即して決める。

渡辺順子 議員

問 町は広報おおいそ11月号に、駅東側の石積み擁壁を壊して町道48号を拡幅する理由を掲載したが、偏った内容である。工事に莫大な税金を使うのだから記事は公平に正しく掲載し町の見解を述べ、広く町民の意見を聞いて決めるべきでは。

答 この石積みの件については、広報で知らせるだけでよい。

浅輪いつ子 議員

問 健全度が確認された駅前の石垣は景観や観光上そのままが良いが。

答 歩道の設置や車道の拡幅で交通安全に配慮した町道の整備を考えている。

問 無事故の道を一部広げたら問題では。

答 約3割の拡幅整備を図ることでこれまで以上の安全が確保される。

問 6千万円も出費する緊急性必要性は。

答 交通安全だけでなく防災も含める。

山口陽一 議員

問 大磯町は町民の期待している行政をしているか。町民に信頼されるためにどのような努力をしているか。

答 町民の目線に立った行政を心掛けるとともに、スピードのある対応をできるように努力している。

問 国府橋は幅が狭く、両面通行ができないので早く拡幅してほしい。

答 周辺地権者にもお願いしている。

議会スナップ



▲10月22日 議員研修会
講師に露木開成町長を招き、「地方分権と議会改革」を研修。職員も参加した。



▲11月4～5日 総務建設常任委員会
新潟県柏崎市〔地震防災対応〕・上越市〔歴史的建造物を活かした高田市街地活性化の取組み〕を視察。



▲11月11日 総務建設常任委員会協議会
町道認定のため現地視察。



▲11月12日 県町村議会議員研修会
愛川町文化会館で日本体育協会副会長塚原光男氏が「果てしなき挑戦=金メダルへの道」を講演。

予算特別委員会(予定)

3月	4日	全会計説明
	6日	総務関係
	9日	建設関係
	11日	福祉関係
	12日	文教関係

3月定例会

2月	20日	本会議 (議案上程等)
	27日	本会議 (総括質疑等)
3月	2日	本会議 (一般質問)
	3日	本会議 (一般質問)
	18日	本会議 (委員長報告等)

※ SCNにて放映されます。

明日の大磯が
見えてくる
皆さんで
議会傍聴を

副議長	委員	副委員長	委員長	議会だより編集委員
長	長	長	長	
渡辺順子	土橋秀雄	清水弘子	竹内恵美子	
	百瀬恵美子	高橋英俊	浅輪いつ子	
			柴崎茂	

※表紙の題字『大磯』は大磯中学校の正門にある吉田茂氏筆の門標より

外需頼みの日本にとって、まさに未曾有の危機になってしまった。内需に頼れず外需頼みになったのは、少子高齢化が大きな原因だ。私たち編集委員の担当は6月まで。この間、ページをほぼ半減させ、年100万円近い費用を削った。どんなに重要で必要なことでも予算化できない時代が、すぐそこまで来ているから。

米国金融危機は世界同時不況の様相を呈してきた。バブル崩壊から20年たったが、日本の年間自殺者数は平成11年以来ずっと3万人を超えている。

【編集後記】